

トレーナーの登録について

山口県中学校体育連盟 バasketボール競技
専 門 委 員 長 佐 々 木 伸 二

バスケットボールは身体接触の激しい競技であり、また競技の特性として、小さいコートの中で、全力でプレーをするため、捻挫等の外科的負傷の多い競技でもある。また、バスケットボールだけとは限らないが、比較的多くの選手が慢性的な障害を持っており、テーピング等による処方是不可欠である。

しかし、ベンチ入りする指導者がテーピングに関して専門的な知識や技術を持った者が少ないため、時として状態の悪化を招くこともある。

健康・安全対策の一つとして、トレーナー（有資格者）のベンチ入りを認める。このことは、決して出場校にトレーナーの帯同を義務づけるものではない。

ベンチ入りを認める条件

- 1 医療施設に従事しており国家資格を有する者。
- 2 トレーナーとしての認定資格を有する者。
- 3 当該校の養護教諭。

ベンチでの制限

- 1 チーム及び選手に対して戦術的指導を行わない。
- 2 施術についてはベンチ後方（あるいは横等のベンチ外）で行う。
- 3 競技開始後は、原則としてベンチ付近から離れない。
- 4 チームに対しての応援及びそれに類することは厳に行わない。
- 5 上記1～4の内容及びトレーナーとして不適切な言動があったときは、以後の競技及び主催大会での登録を禁ずる。

登録について

- 1 別紙、トレーナー申請書の提出により確認を行い、試合中、トレーナーは必ずビブスを着用すること。着用するビブスは各チームで用意すること。ビブスの色は問わない。
- 2 職印が押された正式な申込書を大会初日に受付に提出すること。確認のため、大会2日前までに、PDFに変換した申請書を、大会申込先へ電子媒体で送付すること。
(大会要項からの変更)